

23

浅田宗伯門人の研究

渡辺 浩二

渡辺産婦人科

【緒言】 明治時代最後の漢方大家として知られる浅田宗伯は、その門人教育の周到さでもよく知られる。宗伯自身の伝記や研究については、大部のものが既にいくつかの分野でなされているが、安西安周の指摘する浅田門下28人衆や、門人佐々木秀三郎が「子弟三千憑誘掖／済生十萬又回春」と詠んだ門下生については知られていない。『勿誤藥室塾規』によれば、浅田塾で門人として許可を受ける際には規定の保証状を提出させていたという。しかし、現在その門人帳の所在は知られない。今回、文献をあたり、宗伯の門人を抽出したので紹介する。

【方法】 門人の抽出に当たっては参考文献として『日本儒医学研究』『輔仁社実験録』『浅田宗伯選集「栗園遺稿」』『漢洋医学闘争史』を用いた。各人の詳細及び二次的な門人抽出には『明治医家列伝』『日本医事新報「東都掃苔記」』『温知医談』『浅田宗伯選集』『安西安周選集』を用いた。門人名は50音順とした。号や字など判明したものは〔 〕内に示した。記号は次の通り。●：ある程度経歴が明らかなもの、★：一定の学術を得た後傘下になるもの、▲：名前のみ明らかなもの、■+数字：同人と疑われるもの、○：上記以外のもの

【結果】 少なくとも次の72人の門人の存在が判明。

▲明田川東獄 ●浅田恭悦〔名惟恭，号栖園〕 ●浅田宗叔〔幼名柏寿，名惟敷，字子誠，通称宗叔，号棕園・宗廬〕 ▲安藤某 ▲石田源五郎 ●石井就三 ■1石丸子直 ■1石丸春庵 ●伊藤誠得〔名英章，字公実，号蒼雪〕 ▲稲葉道之 ■2乾誠軒 ■2乾豊成 ▲今村浩 ▲磐瀬直則 ▲岩本吉人 ●梅山祥寿〔幼名祥次・昌元，名固，字成卿，号世馨〕 ★大沢三折〔名三折，字蘇山，号回春樓〕 ●勝格弥 ▲金内宗哲 ★鎌田松斎〔諱正義，通称一郎，号松斎〕 ★上月玄瑞 ●唐沢養民〔号竹崖〕 ▲神林謹爾 ▲喜多村温 ●木村博昭〔名賢齊，号博昭〕 ●久木田五介 ●黒岩静山〔幼名圭輔，諱為敬，字士莊，号静山〕 ●黒岩為寿 ▲小坂義方 ●斎藤宗篤〔諱宗篤，字子讓，号恕堂・菓菓齋〕 ★佐々木秀三郎〔幼名順太郎・順祥・秀三郎，名義祥，字子順・養徳・逸堂，号魁心〕 ▲佐久間宗庵 ▲鹿野本也★柴田元春〔幼名元順，名元春，号燈軒〕 ▲下条綱吉 ▲下条俊超 ▲下条通信 ★下条通春 ●下村誠之〔名誠之，字子廉，通称松庵〕 ▲税所某 ▲関春達 ●竹内維張〔幼名三作・真太郎，名維張，字士廉，号淡如・三松子，通称玄撮〕 ▲竹村良庵 ▲谷崎敏 ★常盤木良春 ▲戸塚信亮 ■3豊田三叔 ■3豊田陽 ●中野康章 ○中林清風 ●中村昌恵 ▲中野棗二 ▲中山琳 ●新妻莊五郎 ▲仁科休庵 ○服部方行 ○林静斎 ○原田周郁 ●原履信〔名履信，字伯順，号退斎・陸渠居士・鴈白小生，堂号力行堂〕 ○樋口泰順 ●藤田謙造 ○古川精一 ●前園道〔幼名虎三郎，名後道〕 ▲松尾理喜 ▲松本亦一 ●松山良禎 ●三浦宗春 ○御園生敏行 ●安井玄叔〔名玄叔，諱知足，字子祥，号岐雲〕 ★安江尚隣〔幼名静雄，名尚隣〕 ▲山辺三子 ▲矢野恵三 ▲横浜寿禎 ●盧越屠龍〔号琴岳〕 ○渡辺敬甫

【考察】 浅田宗伯門人がこれまで余り知られてこなかった理由としては、宗伯自身が偉大で有名なことが挙げられよう。今回の調査では宗伯自身の手記によるものも含め、70人を超える門人を確認することが出来た。明治漢方界の中心を担っていた宗伯門人の調査は、明治漢方界に何が起きていたのかを知る資料となろう。明治維新前後など時代背景と宗伯門人の出入りの関係をみることで西洋医学への流れがいかにか大きな潮流だったのかも理解できるようになると考える。

【結論】 浅田宗伯門人を文献調査した。今回の調査で70人以上の浅田宗伯門人が明らかとなった。